

2023年度メディカルサイエンスカフェ実施報告

第1回	実施日	5月12日(金) 8:40~9:40
	場所	ハイブリッド開催(基礎研究棟第4講義室及びzoomによる配信)
	講師演題	黒田 啓介先生 名古屋大学大学院医学系研究科 特任准教授 「学術論文の読み方」
	参加者数	44人(対面43人・オンライン1人)
	参加学生の声	<ul style="list-style-type: none"> ・今までなんとなく文章を追っていた論文がどういう構造でできていてどこに注目すべきか論理的に理解できた。 ・これから学問の世界に進んでいく身として、このタイミングで論文の読み方を教わったことは大きな利益となった。
第2回	実施日	5月19日(金) 9:20~10:50
	場所	ハイブリッド開催(基礎研究棟第4講義室及びzoomによる配信)
	講師演題	尾崎 紀夫先生 名古屋大学大学院医学系研究科 精神疾患病態解明学特任教授 「精神疾患領域の臨床・基礎研究におけるAI活用:日々の臨床疑問解決と病態解明での有用性」
	講師演題	大山 慎太郎先生 名古屋大学未来社会創造機構 予防早期医療創成センター 准教授 名古屋大学医学部付属病院 手の外科 「スマート医療におけるAIの活用」
	参加者数	42人(対面37人・オンライン5人)
参加学生の声	<ul style="list-style-type: none"> ・医療におけるAIの重要性について日本の遅れを実感した。名大の中にもAIの研究室があることを知れてよかった。 ・AIについて最新技術や現状を知ることができて、とても興味深かった。医療関連のプログラムやAI使用について興味があるので、ぜひオンデマンド講義なども聞いてみたいと思った。 	
第3回	実施日	5月26日(金) 8:40~9:40
	場所	ハイブリッド開催(基礎研究棟第4講義室及びzoomによる配信)
	講師演題	前田 勇貴先生 名古屋大学大学院医学系研究科 博士課程2年 生体反応病理学所属 「なぜ、圧倒的少数派の基礎研究医を選んだのか?」
	講師演題	深津 紀暁先生 名古屋大学大学院医学系研究科 博士課程2年 システム生物学所属 ” Analysis of the Internal State of Mice and Their Responsiveness to Multimodal Sensory Inputs ”
	講師演題	玉田 雄大先生 名古屋大学大学院医学系研究科 博士課程3年(MD・PhDコース) 予防医学所属 「MD・PhDコースと疫学研究について」
参加者数	36人(対面35人・オンライン1人)	
参加学生の声	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な研究室をわたりあるくことも全然可能だと知って、研究室選びのハードルが少し下がったと思います。 ・疫学研究について知ることができた。医学の学問領域をイメージするとどうしても基礎医学研究や臨床をイメージしがちであったがもっと幅広かった。 	
第4回	実施日	6月2日(金) 8:40~9:40
	場所	ハイブリッド開催(基礎研究棟第4講義室及びzoomによる配信)
	講師演題	木村 宏 先生 名古屋大学大学院医学系研究科 研究科長・ウイルス学教授 「FROM BEDSIDE TO BENCH AND BACK AGAIN! -臨床と基礎研究の融合を目指して-」
	参加者数	31人(対面29人・オンライン2人)
	参加学生の声	<ul style="list-style-type: none"> ・Physical scientist という概念。医学は日進月歩するものであり自らが切り開いていくものであるという言葉が印象に残った。

第5回	実施日	6月16日(金) 8:40~9:40
	場所	ハイブリッド開催(基礎研究棟第4講義室及びzoomによる配信)
	講師演題	松尾 恵太郎先生 愛知県がんセンター研究所がん予防研究分野 分野長 「観察研究から発がんの因果を問う」
	参加者数	25人(対面24人・オンライン1人)
	参加学生の声	<ul style="list-style-type: none"> ・扱う病気や費用、実現可能性などを考慮して、どのような方法を用いて研究をするのかを決定していくという話が印象的だった。 ・研究デザインの話やALDH2の研究内容や動き方がとても面白かった。 ・素人の自分でも興味が湧くような内容だったし、医学の勉強のやる気も出ました。
第6回	実施日	6月30日(金) 8:40~9:40
	場所	ハイブリッド開催(基礎研究棟第4講義室及びzoomによる配信)
	講師演題	久保田 晋平先生 北海道大学遺伝病制御研究所分子神経免疫学分野 特任講師 「生命システムの制御を目指して」
	講師演題	小澤 慶先生 Institute of Diabetes and Regeneration Research, Helmholtz Center Munich Postdoctoral Researcher 「全世界共通のライセンス、PhD」
	講師演題	勝田 紘基先生 岡山大学学術研究院医歯薬学域 システム生理学 助教 「私を叶える物語」
	参加者数	39人(対面39人・オンライン0人)
	参加学生の声	<ul style="list-style-type: none"> ・5年次にインターンで海外に行かれた話を聞き、学生の頃から研究室に出入りすることの重要性を感じました。 ・遅くまで電気のついてる研究室はみんなしっかり取り組んでいる研究室というのが、今までのイメージと違っていた。 ・関連性が低いという印象がある生物と物理の関係性に着目して研究をしているというお話が印象に残っています。他の人が目を付けない点に着目する重要性を実感しました。 ・研究者としての生活のイメージが非常に湧きました